



Flawless

Ryoko's Case File Illustrations by Narumi Kakinouchi

ISBN 4-06-364669-6

Scanned at 300 dpi and sized to 3000 height

Please support the artist & buy the artbook! :)



9784063646696



1920979020009

ISBN4-06-364669-6

C0979 ¥2000E(税別)

講談社 定価:本体2000円(税別)

Flawless

薬師寺涼子の怪奇事件簿イラスト集

Flawless

フ
ロ
ー
レ
ス

垣野内成美 原作／田中芳樹

講談社

原作／田中芳樹
垣野内成美

flaw-less [flɪːləs] ㊂

①きずのない, 完璧な, 完全な ②最上の透明度をもつダイヤモンドの呼称

KODANSHA

Ryoko's Case File Illustrations

Flawless

Illustrated by Narumi Kakinouchi
Story by Yoshiki Tanaka



Hey.
Don't pretend that
your dead!



Ryoko's Case File Illustrations

Flawless

Illustrated by Narumi Kakinouchi Story by Yoshiki Tanaka







Flawless

葉師寺涼子の怪奇事件簿イラスト集

2006年8月28日第1刷発行(定価はカバーに表示してあります)

著 者 垣野内成美・田中芳樹
発行者 五十嵐隆夫
発行所 株式会社講談社
〒112-8001 東京都文京区世田2-12-21
電話 編集部03(5395)3470
販売部03(5395)3608
業務部03(5395)3603
装 丁 柳川燾津夫+大野裕介(スバイス)
本文デザイン 間中幸子・手代木絹子(coo)
製版・印刷・製本 株式会社廣済堂

©垣野内成美 2006
©田中芳樹 2006

- 盗丁・盗丁本は購入書店を明記の上、小社業務部までにお送りください。
送料小社負担にてお取り替えます。
- この本についてのお問い合わせはマガジンZ編集部までお願いいたします。

図本書の無断複製(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

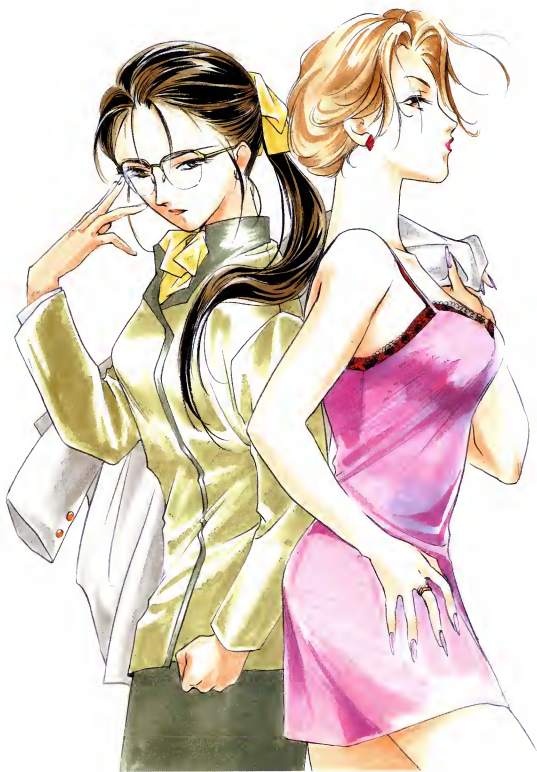
ISBN 4-06-364999-6 Printed in Japan N.D.C.725 99p 30cm

【協力】(五十音順)

株式会社インデックス ミュージック
エイベックス・エンタテインメント株式会社
株式会社光文社ノベルズ編集部
株式会社祥伝社ノン・ノベル編集部
有限会社らいとすたっぷ







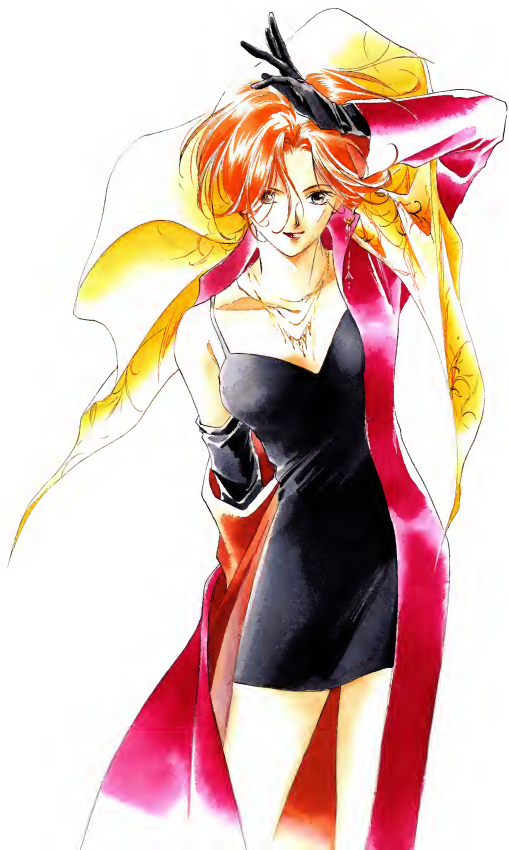




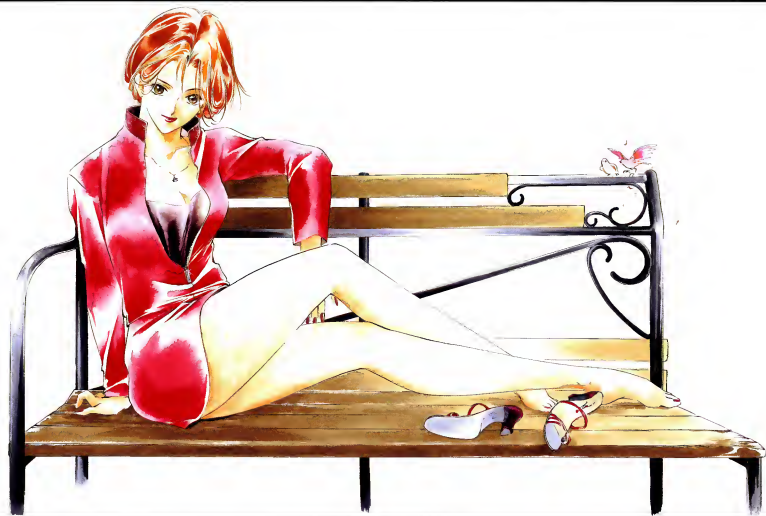
























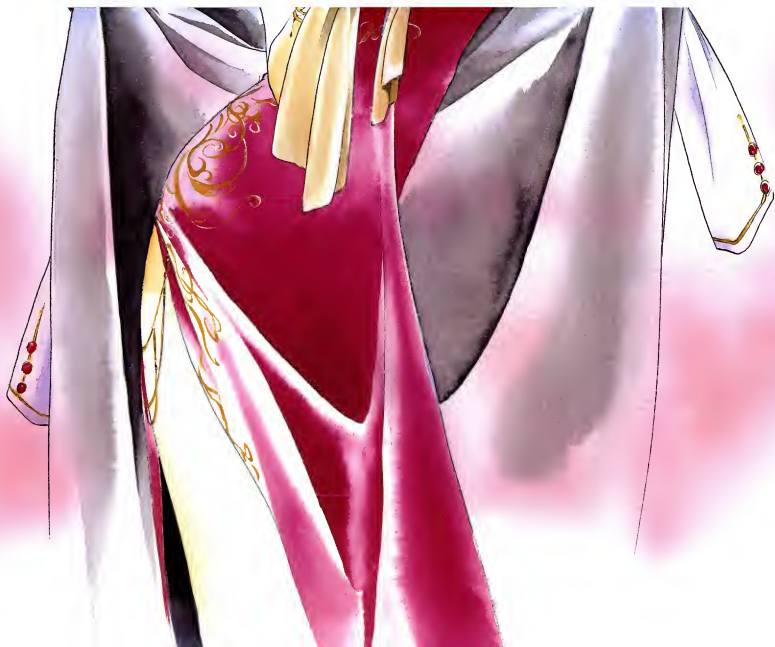


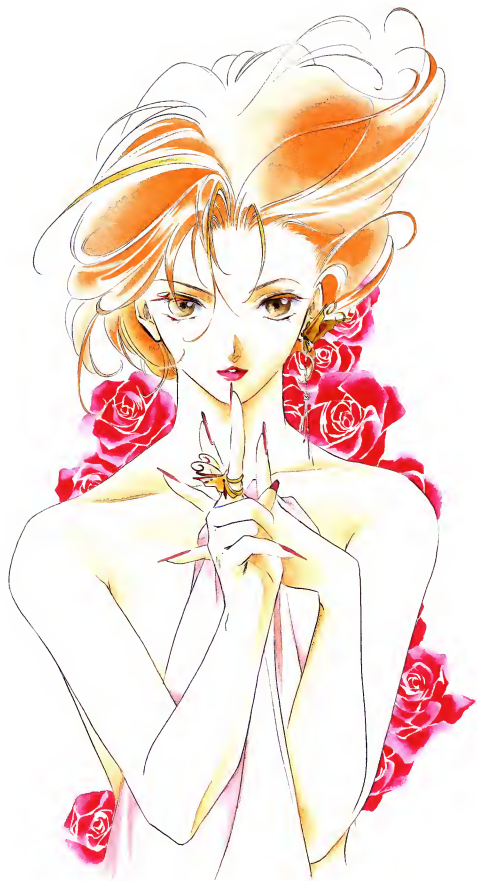
Ryoko



Junichiro











Junichiro Izumida



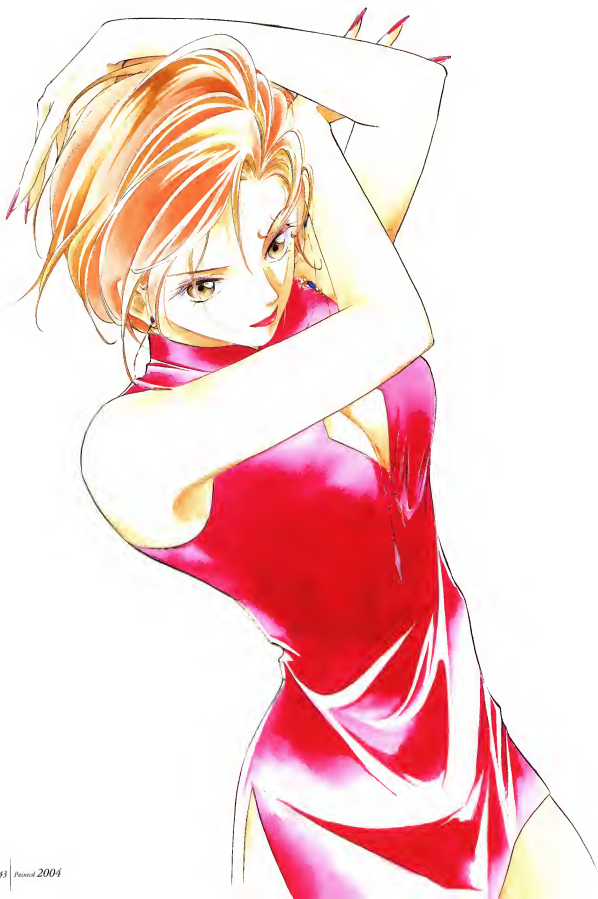








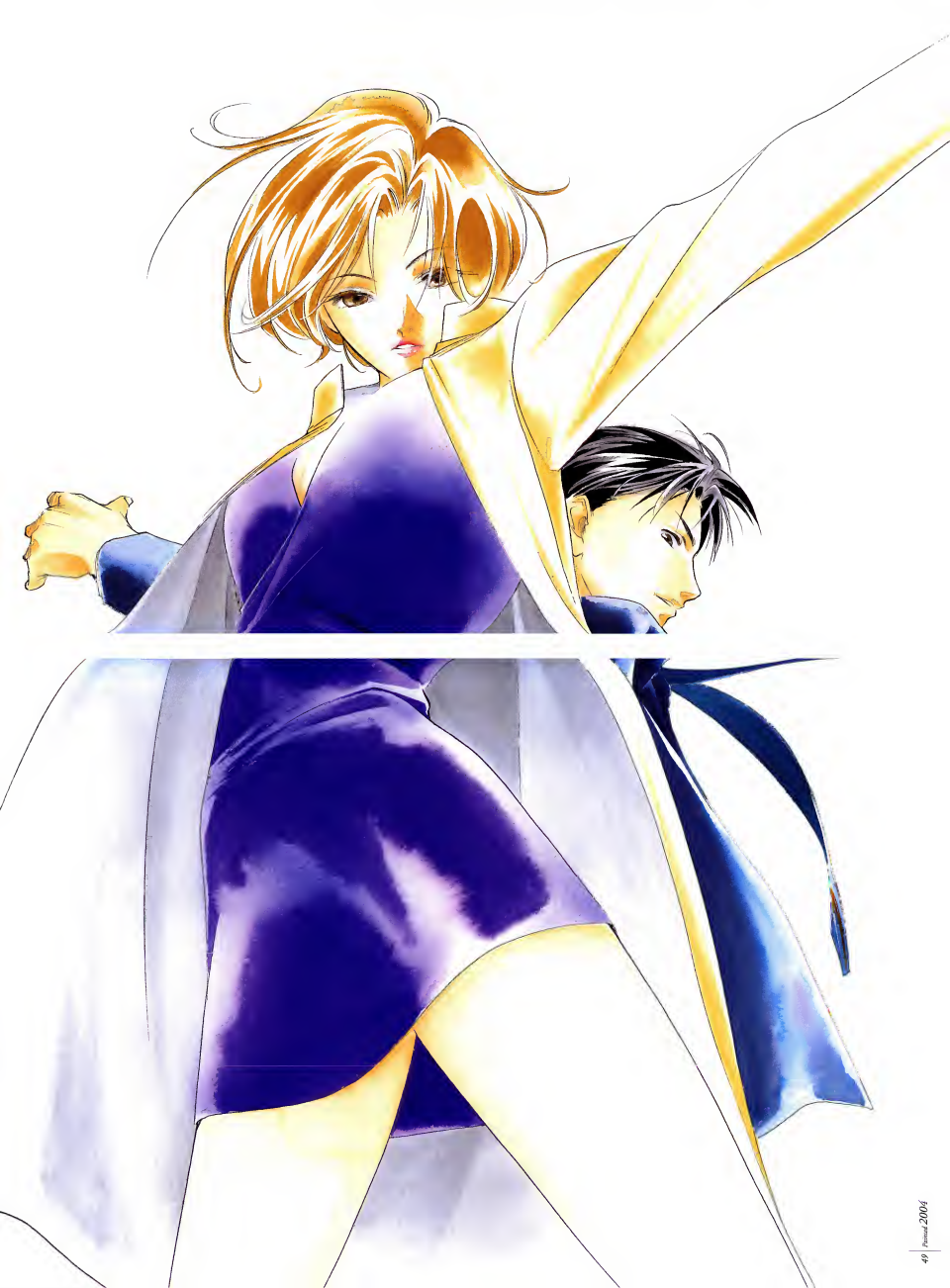








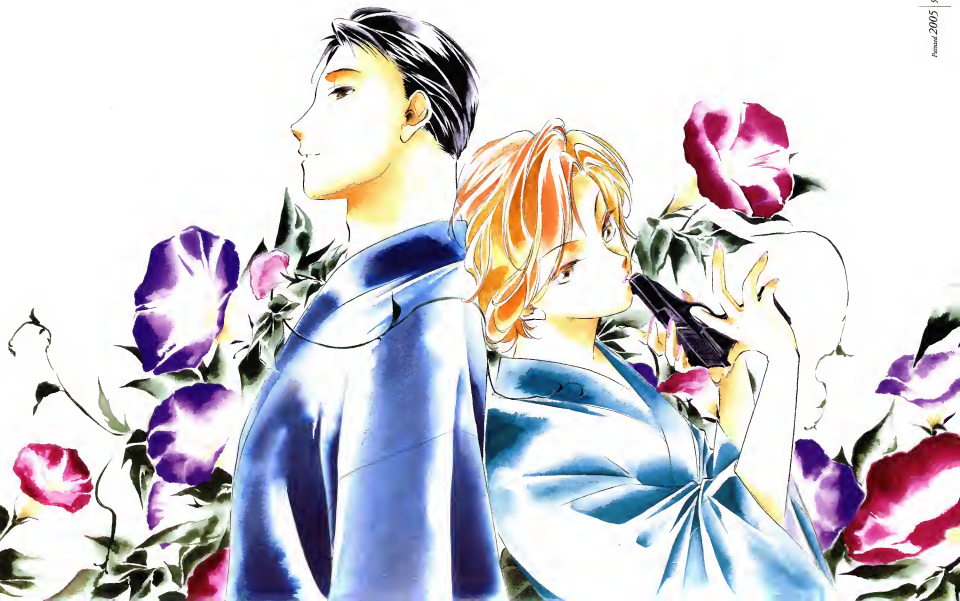




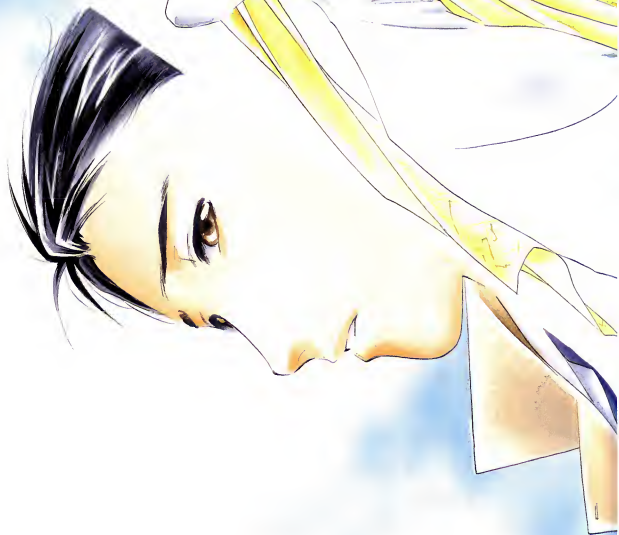














Yukiko



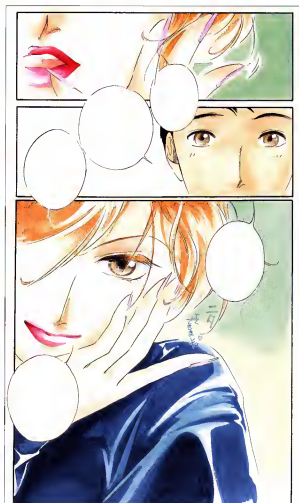
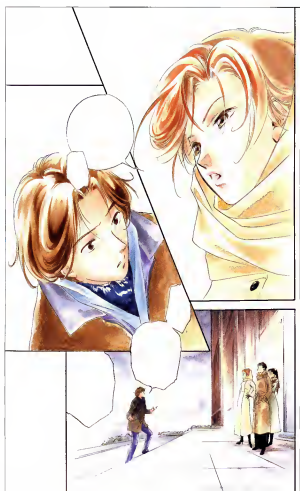
Akira



































垣野内成美×田中芳樹コラボ小説

「眠れる森の魔女」

80

垣野内成美のお仕事ウラ話

「BUTAIURA!」

84

モノクロイラストギャラリー

88

イラストINDEX

96

あとがき

99

Flawless

巻末企画

「眠れる森の魔女」

わが東方国の国王、ソーカン五十四世陛下は、お妃を「くされて十年になるが、このたび再婚を決意なさって、王宮に私をお呼びになった。騎士イズミダ卿よ、朕の使者として魔女国におもむいてくれぬか。後の国の女王に求婚しようと思ふのじや」

「ご指名いただき、光栄に存じます」

「求婚に成功し、女王を花嫁として無事に朕のもとへつれてまいったら、そなたに爵位をあたえようぞ」

「ははッ、ありがたきシアワセ」

「ついでに、これは朕がつくった短詩なのじやが、これを女王にお見せして、朕のマゴコロを伝えてくれ」

うやうやしく受けたった羊皮紙には、つぎのような御製が記されていた。

逢わずとも 日ごとに慕る わが恋心

「へただなあ」

「何ぞ申しか」

「いえない、かほど個人的な詩をお詠みあそばすのは、地上に陛下おひとり、女王もおようごにならましよう」

「吉報を待っているぞ」

私は国王陛下から旅費を賜り、準備をととのえ、魔女国へと旅立った。愛馬を歩ませること十日、魔女国の境をこえる。

馬上から眺めて、おどろいた。魔女国は緑ゆたかな美しい国と聞いていたのに、森は灰色に枯れ、川は褐色に濁り、果樹園も牧場も荒れ、空には鳥ではなく火を吐くドラゴンが舞っているのだ。村は焼け、町も破壊され、まるで戦後のさなかなである。

困窮したようすの農民の一家に銀貨をあたえて、事情を聞いてみた。

「この国の女王陛下は才色双絶、魔力もありで、よく国を統治しておられると聞いたが、どうしてこのようなありさまになったのだ？」

「じつはその女王さまが、いま王宮におられんです」

「なぜ？」

「女王さまはお気に入りの森の離宮で静養しておられたんじやが、何者かに毒リンゴを食べさせられて……」

「何と亡くなったのか」

「いやいや、生きてるんじやが、それ以来ずっと昏睡なってます」

森の離宮で七人のノーム族に守られてござる。一方、これまで女王さまのお力で封印されていた怪物どもが暴れ出し、村を焼いた煙に電を降らせたり、おかげで国じゅう荒れはてしてしまう。誰ぞ一日も早く、女王さまをめざめさせてくれなくて、この国は亡びてしまうぞ……」

どうやら魔女国存亡の危機のようである。私はさらに馬を進め、あう人ごとに話を聞いたが、最初に聞いた話をくりかえし確認する結果となつた。

こうなると都に向かってもムダだ。私は森の離宮の場所を聞き出し、その方角へ向けて愛馬を駆った。

到着するのに七日かかった。何もなければ三日行程ということだったが、そうはいかなかったのだ。自慢話をしてもしなかったが、途中でドラゴンを三頭やっつけ、人狼を五匹退治し、吸血コウモリの群れを追い散らし、名も知れぬ妖怪を何匹もたづけた。最後に茨の密林を切り開いて、ようやくこのこと、孤立状態に置かれた離宮にたどりついたのである。

「わが名はイズミダ卿、東方国の騎士でござる。国王ソーカン五十四世陛下が貴国の女王陛下に求婚なさるにより、勅命をうり、使者として参上いたしました。何とぞ謁見をたまわたくし、おとりつき願ひたし」

離宮というのは木造で、宏壮な山荘という感じの建物だったが、玄關が開いて、七人のノーム族がぞろぞろと姿をあらわした。見たところ、男が五人、女がふたり。ちなみにノーム族は男女の別が名前でもわかる。名前の語尾が男は「H.N.O」、女は「H.N.A」になっているのだ。

「遠路はばる、ようまいられましたな。まずおはいりになって、お茶でもいかが」

おだやかそうな初老の男がいう。名はマルオカーノぞうだ。

「悪いお人には見えませんが、うかつにいれていいのでしょうか」

端整な顔にメガネを光らせる黒髪的女性はオスキナ。すると少女っぽい雰囲気サトミナが口を出す。

「でも、はいっていただかないと失礼ですよ。せっかく異国からいらしたのに」

「そうね、ではどうぞおはいりください。おそろしく事情はご存じでしょう、あまりおかまいでもできませんけど」

私は広間に招き入れられた。床には平石が敷きつめられ、大きなレンガづくりの暖炉がある。十人以上がすわられる樞のテーブルに着くと、サトミナが茶を運んできた。

「女王陛下は毒リンゴを食されて昏睡なってますというかいます」

「女王陛下は毒リンゴを食されて昏睡なってますというかいます」

「女王陛下は毒リンゴを食されて昏睡なってますというかいます」

「ご容態はその後お変わりないのですか？」

私の問いに、オユキーナが溜息をつく。

「ええ、お生命には別状ありません。ただ昏々と睡っておいでです」

「お生命に別状がなかったのは、不幸中の Сайワイ でした。それにしても、何者が リンゴ に毒など……」

「リンゴだけではありません」

「は？」

「パンにもワインにもミルクにもスープにもハムにもチーズにも毒がはいっていて、女王さまは全部三人前ぐらい召しあがったんです。さつと十五人分の致死量になります」

「それでお生命に別状なかったのですか」

「女王さまはとても健康なお方なのです」

健康っていうのか、それ。

高貴な美女のイメージがいささかぐらつくのを感じつつ、私はひとつセキバライした。

「いずれにせよ、女王陛下がお覚悟になれば、国を荒らす怪物どももふたたび封印され平和がよみがえると聞きおよびます。私も致命をはたすことができますと申すもの。何ぞよき方法はござるまいか」

このとき、オユキーナとマルオカーノがすばやく視線をかわしあうのを、私は見た。

「よき方法をご存じなのですか」

「ええ、あるにはあるのですが……」

オユキーナがためらう。なぜためらうのか質そうとしたとき、

「ボク知ってます」

軽薄な声とともに、しゃしゃり出てきたのは、子ダヌキみたいな体型のキシモトノだ。制止しようとするオユキーナにかまわず弁じ立てる。

「いいじゃないですか、この騎士サンに女王さまを救っていただいたら。ねっ、騎士サン、みんなのためにやってくれますよ」

なれなれしいぞ、という言葉業をのみこむ。

「麗女国と東方国、両国の平和と友好のため、不肖この私にできることなら何なりと」

「かたくるしいこといいつこなし。女王さまも目をさまし、国もボくらも助かる。たよりにしてます」

「それで、どうすればいいのか」

「簡単ですよ」

「だから、どうすれば……」



「女王さまにキスするんです」

「それは……」

私は絶句する。美女の誉れも高い女王にキスするのは、男としてまたとない幸運だが、喜んではいられない。身分とか立場とかいうものがあ

る。「私は一介の騎士で、国王陛下の使者にすぎない。現在も麗女国の女王で、東方国の王妃にもなろうという高貴なお方にキスなんて……」

「でも、他に方法はありませんぞ」

中年男のケイビーノがいうと、これまた中年男のケイジーノが大きくうなずく。

「女王さまがおメザメにならなければ、貴国の王さまと結婚なんてできやしない。勅使の任務と割りきって、キスなさい。女王さまは絶世の美女であらせられる。役得ですぞ」

「役得、役得」

ケイジーノとケイビーノが声をそろえてはやしたてる。このふたりはどうも「役得」という言葉が好きなのようだ。

「いいかげんになさい」

オユキーナが叱りつける。

「だまっていようと思っただけ、やつぱりこれはフェアではないわ。騎

BUTRAI



今回作る
イラスト集で
ですね

マゼンタの
担当せんS

垣野内先生の
「絵の描き方講座」を
載せるというのは
どうでしょうか？

ハウツーお絵描き編

面白い企画だと
思うんです
けどー

ものすごく
がんばって
画集を
編集してる

うーんでも
私の絵の描き方って
他所様に説明
できるものじゃ
ないんですよー

垣野内成美の
塗り方 基本

中学から使っている
水入れ

筆をインク・
チューブに
直接つけて
……

塗る。

パレットとか
使わないし

垣野内成美

なるほど
そうやって
描かれて
いるんですか

ーって書くと
シンプルすぎるん
ですけれど
裏技もあるんです
一応……

色をぼかす時の
コツは「水墨画」
の要領で

多いインク量で
パシャパシャ
塗るのではなく
理由は
一気に塗らないと
二度と同じ色を
作れないから……
(することもある
あります)

色を混ぜる
時は紙の上で
一気に仕上げ
ます

少しずつ色を
置いてゆかんじ

使っている画材は
水彩絵の具
マーカー
面相筆
水彩画用筆……

あと
イオスピアリの
画材屋さんで
調合してもらった
インクがお気に入り
でした♡

筆は赤系の色と
寒色系で塗る筆を
使い分けています

筆に長年しみこんだ
色が、独特の風合いを
出したり……
(することもある
あります)

基本は
一筆
入魂!!
ですっ

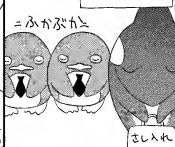
ここで
いのかな……
オオオ
るかな

BUTAI
URA!

コラボ企画編

垣野内の
原画展に
田中芳樹先生が
来てくださった
時のこと

ニふかぶかニ

わざわざ
来てくださるなんて
恐縮だよー小説出版部の
編集さん達担当さん
同席こちらの
担当さんは
お休みで
気持ちだけ
hereエライ人達も
いっぱい一緒
いますね

アシタノ

話題ははずみ
新作小説の内容にも
ふれはじめ今度の舞台は
軽井沢ですよー!
泉田クンの
○○○姿ご挨拶の席では
イラスト集や新作小説の
話題に花が咲きました小説屋の
さんです!

ヤン

垣野内先生の
イラスト集
楽しみですわっ小説の執筆も
順調で
よかったです敬語に
お世に
すい達いきなりすぎる
話題ふり田中先生は
イラスト集用
書き下ろしの
リクエストとか
ありますで
しょうか?

アシタノ

実はマガジンの担当さんは
お源様小説を
楽しみに読んでいますお僕達には
内容を教え
ないでください自分で買って
真つ白な頭で
読みたいんです発売日まで内容を
知りたがりませんファン
代表!少しでも
中身を
知りたくないのねさし絵描きのため
新作原稿の
こぼれ本だけ

BETA

キャラクター作画編

薬師寺涼子の
漫画を描いて
いる時のことあーっ
お由紀さんて
描きにくい！
「一枚の絵で表現
しきれない」お涼様は
一発で表情が
決まるしわうっ！
挑発的岸本君も
わかりやすいん
だけれど……お由紀さんは
普段の表情の下に
素顔があるって
いうか――カメラを
ふった時に
一瞬別の顔が
のぞくって
いうか――いつもの
顔になるふとした
表情

中リヤ

アニメーション
的に言えば
カット頭
ワンアクション
あるのよね

ゴッ

わかるっ？！
わかる!?
一枚で表現しなくちゃ
いけないマンガの
もどかしさが!!専門用語が
よくわからないけど
こだわりが
ご立派です!!泉田君は
難しいというより
簡略化する顔が
多いから……

悟りの境地

泉田
君はわーっ
かわいそう!!
ハンサム
なのに――っじゃあじゃあ
もう一人の主役(?)
泉田君は描きやすいですか
描きにくいですか!?

えっ

「たまたま」
コメント是非!

ヒッ

こんな風に
お涼様シリーズは
作画されて
いまーす

立派..

これからも
お涼様を
ヨロシクお願い
しまーす

編集魂 立派!!

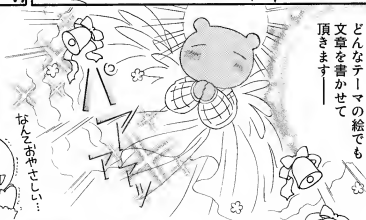
おしまい
終劇!!

バカアアア!!

難題が出たらドーするのオオオツ
アシがハードルを上げるなああつつ



どんなテーマの絵でも
文章を書かせて
頂きます—



ほんとあやさしい...

後光だ!!
後光が差して
見える!!

神が
降臨されて
「あやさしい...」



そんなわけで
今回のかきおろし
コラボ企画が
生まれたとか
生まれないとか

どんな文章が
つくのかなあ
...??

ちみっく
ドキドキです

この本を
ご覧の皆様
楽しんで頂けたら
幸いです♡

アニメ時代
から使っている
動画機





【魔天楼】より

モノクロ イラスト ギャラリー *Illust Gallery* 1996-2006

小説挿絵、コミック扉などの数あるモノ
クロイラストの中からピックアップ!



【魔天楼】より





『巴風・妖館』より



『東京ナイトメア』より



『クレオパトラの群衆』より



『クレオパトラの群衆』より



「クレオパトラの葬送」より



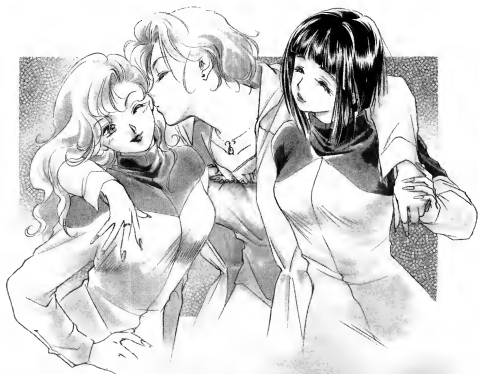
「クレオパトラの葬送」より

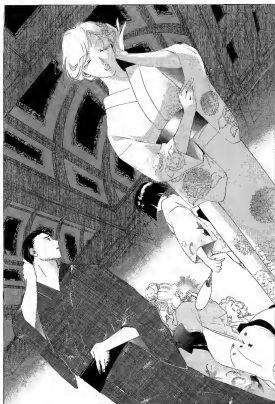


「黒豹野島」より



「黒豹野島」より





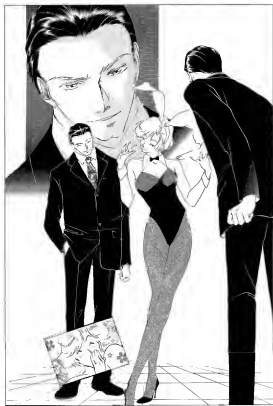
「夜光曲」より



「黒狼群島」より



「夜光曲」より



「夜光曲」より



「呪われたダイヤ」『女王陛下のえんま帳』収録より



「彼光曲」より



『月刊マガジンZ』2006年2月号連載画



『月刊マガジンZ』2004年10月号連載画





P.1-1 (ピンナップ表)
描き下ろし

①②③



P.1-2 (ピンナップ表)
描き下ろし

①②③④⑤

イラスト INDEX

初出一覧

① 初出用途 (発売元は当時のものです)

② 初出年月日

③ 使用画材 (著彩使用画材凡例: ④=カラーインク ⑤=透明水彩 ⑥=マーカー ⑦=色鉛筆 ⑧=筆ペン ⑨=スクリーントーン ⑩=マーカープラシ)



P.12
① 講談社ノベルス「東京ナイトメア」口絵イラスト
② 1998.10.06
③ ④⑤⑥



P.10-11
① 講談社ノベルス「東京ナイトメア」カバーイラスト
② 1998.10.06
③ ④⑤⑥



P.9
① 講談社文庫「魔天楼」口絵イラスト
② 1998.10.15
③ ④⑤⑥⑦



P.8
① 講談社文庫「魔天楼」カバーイラスト
② 1998.10.15
③ ④⑤⑥⑦



P.6-7 (本書カバーイラスト)
描き下ろし

①②③④⑤



P.17
① 光文社カッパ・ノベルス「巴里・妖都恋」口絵イラスト
② 2000.01.30
③ ④⑤⑥⑦



P.16
① ドラマCD「東京ナイトメア」(NEC インターチャネル) ブックレットイラスト
② 1999.12.03 ③ ④⑤⑥⑦



P.15
① ドラマCD「東京ナイトメア」(NEC インターチャネル) ジャケットイラスト
② 1999.12.03 ③ ④⑤⑥⑦



P.14
① 講談社ノベルス「魔天楼」口絵イラスト
② 1999.01.08
③ ④⑤⑥⑦



P.13
① 講談社ノベルス「魔天楼」カバーイラスト
② 1999.01.08
③ ④⑤⑥⑦



P.23
① 講談社文庫「東京ナイトメア」カバーイラスト
② 2002.04.15
③ ④⑤⑥⑦⑧



P.22
① 講談社ノベルス「クレオパトラの野望」口絵イラスト
② 2001.12.21
③ ④⑤⑥⑦⑧



P.20-21
① ドラマCD「魔天楼」(エイベックス) ジャケットイラスト
② 2001.10.31
③ ④⑤⑥⑦



P.19
① 講談社ノベルス「クレオパトラの野望」カバーイラスト
② 2001.12.21
③ ④⑤⑥⑦⑧



P.18
① 光文社カッパ・ノベルス「巴里・妖都恋」カバーイラスト
② 2000.01.30
③ ④⑤⑥⑦



P.29 (上)
① 「月刊マガジンZ」(講談社) 2004年2月号新連載予告カット
② 2003.12.28
③ ④⑤⑥⑦⑧⑨



P.28
① 垣野内成美氏寄稿 田中芳樹氏協賛イラスト
② 2003年10月
③ ④⑤⑥⑦⑧



P.27
① 光文社カッパ・ノベルス「黒猫妹島」口絵イラスト
② 2003.10.31
③ ④⑤⑥⑦⑧



P.26
① 光文社カッパ・ノベルス「黒猫妹島」カバーイラスト
② 2003.10.31
③ ④⑤⑥



P.24-25
① 講談社文庫「東京ナイトメア」口絵イラスト
② 2002.04.15
③ ④⑤⑥



P.34~35

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年3月号「魔天楼」第0話カ
ラー扉
②2004.01.26 ③ ④ ⑤ ⑥



P.33

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年3月号「魔天楼」第1話カ
ラー扉
②2004.01.26 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.32

①「女王陛下のえんま帳 華野
寺瀧子の怪奇事件簿」ハンドブ
ック(光文社)カバーイラスト
②2004.01.25 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.30~31

①「女王陛下のえんま帳 華野
寺瀧子の怪奇事件簿」ハンドブ
ック(光文社)口絵イラスト
②2004.01.25 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.29(下)

①特製リングメモ(平野巖本編)
②2004年8月
③ ④ ⑤



P.39

①講談社文庫「巴里・妖都室」
カバーイラスト
②2004.04.15
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.38

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年4月号「魔天楼」第2話
カラー扉
②2004.02.25 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.37

①マガジンZ KC「華野寺瀧子の
怪奇事件簿」第1巻(講談社)表
紙イラスト
②2004.02.23 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.36(下)

①マガジンZ KC「華野寺瀧子の
怪奇事件簿」第1巻(講談社)裏
表紙イラスト
②2004.02.23 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.36(上)

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年3月号「魔天楼」第0話
カラー
②2004.01.26 ③ ④ ⑤ ⑥



P.45

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年11月号「東京ナイトメア」
第3話カラー扉
②2004.09.25 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.44

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年9月号「東京ナイトメア」
第2話カラー扉
②2004.07.26 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.43

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年6月号「東京ナイトメア」
第3話カラー扉
②2004.04.26 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.42

①講談社文庫「巴里・妖都室」
口絵イラスト
②2004.04.15
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.40~41

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年3月号「東京ナイトメア」
第1話カラー扉
②2004.01.26 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.52(下)

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2005年2月号「東京ナイトメア」
第5話カラー
②2004.12.25 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.52(上)

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年9月号「東京ナイトメア」
第1話カラー
②2004.07.26 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.50~51

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2005年2月号「東京ナイトメア」
第5話カラー扉
②2004.12.25 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.48~49

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年12月号「東京ナイトメア」
第4話カラー
②2004.10.26 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.46~47

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2004年9月号「東京ナイトメア」
第1話カラー扉
②2004.07.26 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.58(上)

①マガジンZ KC「華野寺瀧子の
怪奇事件簿」第2巻(講談社)裏
表紙イラスト
②2005.01.21 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.56~57

①「月刊マガジンZ」(講談社)
2005年7月号「巴里・妖都室」
第1話カラー扉
②2005.05.26 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.55

①マガジンZ KC「華野寺瀧子の
怪奇事件簿」第2巻(講談社)表
紙イラスト
②2005.01.21 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.54

①祥伝社ノン・ノベル「夜光曲」
口絵イラスト
②2005.02.20 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.53

①祥伝社ノン・ノベル「夜光曲」
カバーイラスト
②2005.02.20 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦



P.62~63

●マガジンZ KC「薬師寺涼子の怪奇事件簿」第4巻(講談社)表紙イラスト

●2005.11.22 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩



P.61

●講談社文庫「クレオパトラの葬送」口絵イラスト

●2005.06.15

● ㊦ ㊧



P.60

●「堀野内成美展画展2005」(アートコレクションハウス)新作版画用イラスト

●2005年 ● ㊦ ㊧



P.59

●マガジンZ KC「薬師寺涼子の怪奇事件簿」第3巻(講談社)表紙イラスト

●2005.05.23 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩



P.58 (下)

●マガジンZ KC「薬師寺涼子の怪奇事件簿」第3巻(講談社)裏表紙イラスト

●2005.05.23 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩



P.67

●「月刊マガジンZ」(講談社)2006年1月号表紙イラスト

●2006.11.26

● ㊦ ㊧ ㊨



P.66

●「月刊マガジンZ」(講談社)2006年1月号「巴里・妖都変」第5話カラー扉

●2006.11.26 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩



P.65

●講談社文庫「クレオパトラの葬送」カバーイラスト

●2005.06.15

● ㊦ ㊧ ㊨



P.64 (下)

●「月刊マガジンZ」(講談社)2006年1月号「巴里・妖都変」第5話カラー

●2006.11.26 ● ㊦ ㊧



P.64 (上)

●「月刊マガジンZ」(講談社)2006年7月号「巴里・妖都変」第1話カラー

●2005.05.26 ● ㊦ ㊧



P.73

●「月刊マガジンZ」(講談社)2006年6月号表紙イラスト

●2006.04.26

● ㊦ ㊧ ㊨



P.72

●「月刊マガジンZ」(講談社)2006年3月号「巴里・妖都変」第7話カラー扉

●2006.01.26 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩



P.70~71

●マガジンZ KC「薬師寺涼子の怪奇事件簿」第5巻(講談社)表紙イラスト

●2006.06.23 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩



P.69

●マガジンZ KC「薬師寺涼子の怪奇事件簿」第5巻(講談社)裏表紙イラスト

●2006.06.23 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩



P.68

●マガジンZ KC「薬師寺涼子の怪奇事件簿」第4巻(講談社)裏表紙イラスト

●2005.11.22 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩

お涼様にいつでも会える!

田中芳樹「薬師寺涼子の怪奇事件簿」シリーズ (価格はすべて税別です)

小説

『魔天楼』

●講談社ノベルス・定価777円 ●講談社文庫・定価550円

『東京ナイトメア』

●講談社ノベルス・定価819円 ●講談社文庫・定価580円

『巴里・妖都変』

●光文社カッパ・ノベルス・定価820円 ●講談社文庫・定価600円

『クレオパトラの葬送』

●講談社ノベルス・定価777円 ●講談社文庫・定価620円

『風船峠島』

●光文社カッパ・ノベルス・定価820円

『夜光曲』

●祥伝社・ノベル・定価980円

『霧の訪問者』

●講談社ノベルス・定価840円

『女王陛下のえんま帳 薬師寺涼子の怪奇事件簿ハンドブック』らいとすたっふ・編

●光文社・定価1260円

コミック

『薬師寺涼子の怪奇事件簿』1~5巻 原作/田中芳樹 漫画/堀野内成美

●講談社マガジンZKC・各巻定価580円 ●「月刊マガジンZ」連載中 講談社・毎月26日発売 定価600円

ドラマCD

『東京ナイトメア』

●発売元/インデックスミュージック・定価3800円

©1999 田中芳樹/講談社・らいとすたっふ・らいとピーアール・インデックスミュージック

『魔天楼』

●発売元/エイベックス・マーケティング・コミュニケーションズ・定価3885円

©2001 田中芳樹/講談社・らいとすたっふ・らいとピーアール・エイベックス



P.75

●「月刊マガジンZ」(講談社)2006年6月号「クレオパトラの葬送」第1話カラー

●2006.04.26 ● ㊦ ㊧ ㊨



P.74

●「月刊マガジンZ」(講談社)2006年6月号「クレオパトラの葬送」第1話カラー扉

●2006.04.26 ● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩



P.78

●講談社ノベルス「霧の訪問者」口絵イラスト

●2006.08.25

● ㊦ ㊧



P.76~77

●講談社ノベルス「霧の訪問者」カバーイラスト

●2006.08.25

● ㊦ ㊧ ㊨ ㊩

あとがき
afterword

こんなステキな一冊になってとても嬉しいです。
文庫版『廢天楼』にて初の挿絵を描かせて頂いてから
CD、コミカライズと……、わ——、
長いおつきあいとなっていますねえ(今も進行形のものねえ)。
田中先生、このお仕事に声をかけてくださってありがとうございます。
私にとってはいろいろ冒険旅行を楽しんでいる感じです。
大人な(?)キャラを描くことが少なかった私にとって、
与えられた課題を一生懸命提出してる生徒のように
「これで大丈夫かなあ……。」と心配ばかりだったのですが、
マンガは演出面もプラスアルファが必要なので
一枚イラストよりもキャラ達に近くなった気がするんですねえ。
周囲からは「田中先生は寛大な方だねえ……。」とか声が……。
本当に自由に描かせて頂けて幸せです。
アニメ畑からこの世界に入った私は、コマを積んで表現できる方が
キャラに少しでも血が通うかなあ……、なんて
勝手に自己満足してます。
お涙サマは私の持っていないモノだけ！で出来てる方なので
どうやったって想像の域を出ません。
……でことで皆さんもたっぷり想像して観てくださいね♥

